

2023年10月30日

国際ロータリー第2540地区
ロータリー米山記念奨学委員会
2023-2024年度
委員長 呉宮 廣哉 様

秋田北ロータリークラブ
米山奨学記念委員長
三浦崇暢

2023年度ロータリー米山記念奨学生「楊 夢楠」卓話報告

去る10月3日火曜日、当クラブの例会に米山記念奨学生 楊夢楠さんをお呼びし卓話をしていただきました。世話クラブである大館南ロータリークラブのカウンセラー坂本会員にもご同行いただきました。

楊さんには、自己紹介、自国のこと、日本語の勉強、秋田での生活、バイト経験のこと、大学での研究のことなど多くのお話しをしていただきました。楊さんは、秋田大学大学院の修士2年生です。2016年より浜松で生活をしていたということもあり、私が初めてお会いした時にも会話に違和感がなく、とても流暢に日本語を話されていたので驚きました。仕送りが無く、アルバイトをして生計を立てており、そのアルバイトの中で日本語も勉強してきたとの事でした。コンビニや回転寿司、大手チェーン店、新聞配達など日本人学生顔負けのアルバイト経験値を持っており、日本語が上手であることに納得を致しました。

楊さんは河南州出身であり、河南州は少林寺や小麦が有名とのことでした。そのため、麵の文化が形成されており、麵を食べる習慣がついているので、秋田に来てからも多くのラーメン店でラーメンを堪能していると話しておりました。

その他、日本のアニメやゲーム、音楽鑑賞が趣味でとのことでした。特技は写真撮影で秋田の自然を写真におさめることを楽しんでいると話しておりました。秋田の生活を満喫できているようで安心しました。

もちろん、彼は勉学にも力をいれております。研究内容は「振り子を搭載した玉乗りロボットに関する研究」です。簡単に話すと、球の上にロボットを乗せ、そのロボットが球を転がしながら稼働及び移動する研究です。卓話の中で動画を拝見しましたが、玉乗りロボットは非常に繊細な動きを見せていました。この研究の目標はこの玉乗りロボットに竿燈を乗せ、安定させることだそうです。この研究を応用させると、玉乗りロボットに空港案内をさせるなどに使用することが出来るそうです。話を聞いているとショッピングモールのガイドなども出来そうだなと、応用用途が多岐にわたるのではないかと思いました。このようなロボットが近いうちに身近に誕生してきそうでワクワクします。

楊さんはすでにファナック社に内定が決まっているそうです。彼のようなロボット研究に専念してきたような人にはうってつけの会社です。彼のいままでの並々ならぬ努力が報われた結果だと思えます。日本と中国の架け橋になればということも話されていたので彼に対する期待値はとても高まりました。今後も頑張ってもらいたいです。

以上